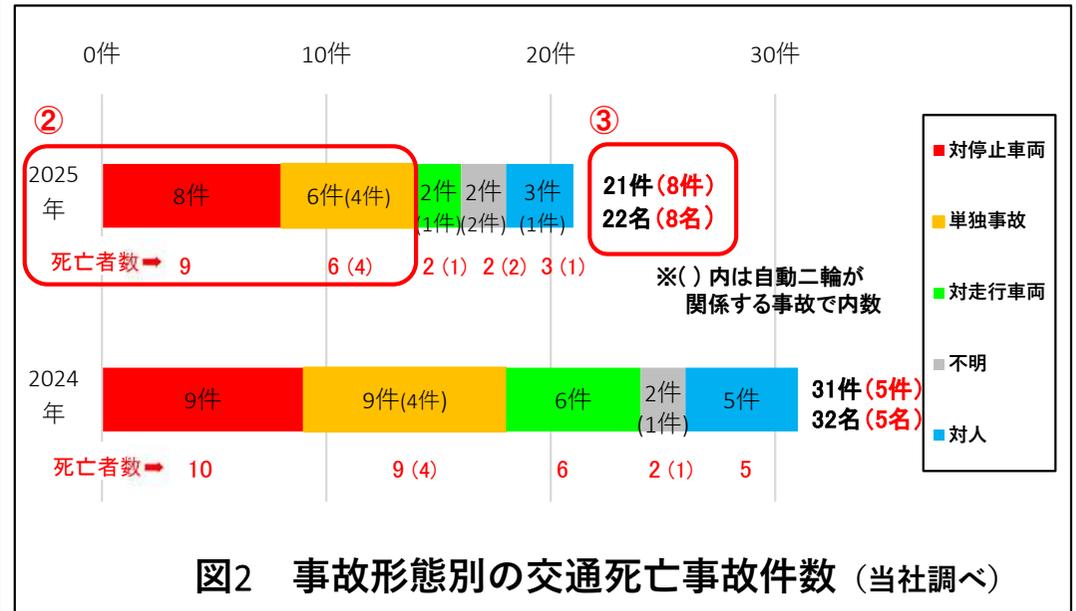
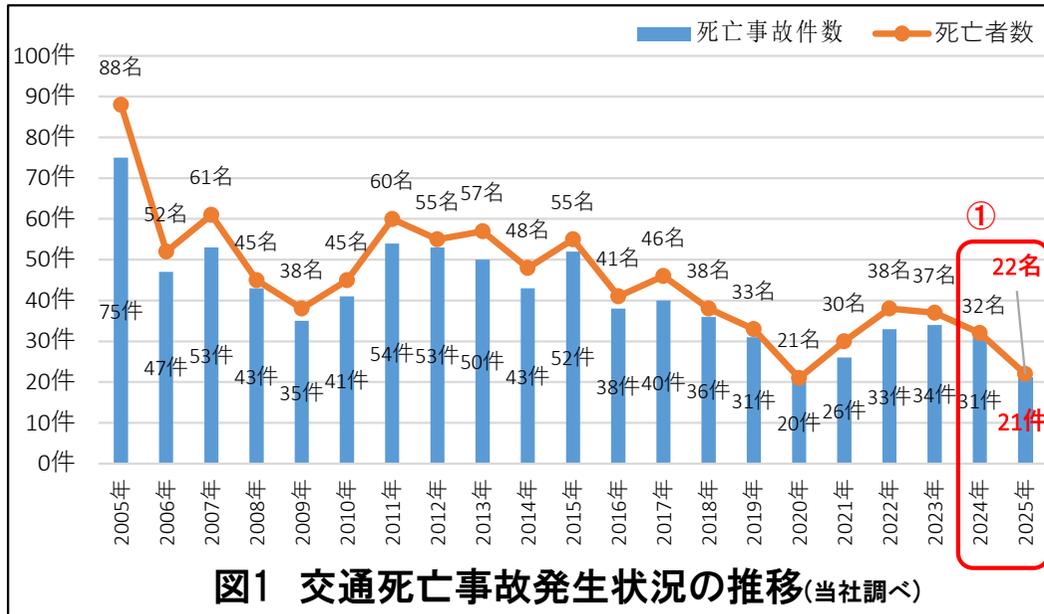


2025年における交通死亡事故の発生状況と安全運転のお願い

2026年2月26日
中日本高速道路株式会社
定例記者会見 資料3

当社管内で2025年(1月1日～12月31日)に発生した交通死亡事故について取りまとめました。(NEXCO中日本調べ)

- ① 昨年の死亡事故件数は21件、死亡者数は22名で、2024年と比べ、件数は10件、死亡者数は10名減少しました。(図1参照)
- ② 交通死亡事故の形態は、高速道路上で停止している車両に衝突する事故や単独事故が全体の半数以上(14件15名)を占めました。(図2参照)
- ③ 2025年は二輪車が関係する死亡事故が8件発生し、2024年と比べ3件増加しました。(図2参照)



〈参考〉過去3年間の事件数比較(当社調べ)

	事故件数			通行台数(日平均) 単位:千台/日
		うち死傷事故件数*		
			うち死亡事故件数	
2025年	12,516件(97%)	1,184件(98%)	21件(68%)	2,071(101%)
2024年	12,844件	1,205件	31件	2,047
2023年	12,779件	1,211件	34件	2,024

()内は対2024年比
※死傷事故とは、
死亡事故および負傷事故の件数

安全安心な高速道路を目指した交通事故防止の取組み

1. 交通事故防止対策

① 事故多発区間における集中的な対策の実施

- ・ 2019年12月に策定した「高速道路の安全・安心実施計画」に沿って、事故多発41区間における対策を2024年末までに完了
- ・ 主に視線誘導標やカラー薄層舗装などの対策を実施し、**2025年は2024年と比較して事故率は約1%削減(図3参照)**
- ・ 今後もETC2.0プローブデータの有効活用など、多角的な事故分析および対策の詳細結果を検証し、より効果的な対策の実施につなげる予定

② 交通情報を音声でお知らせする「みちラジ」周知のお願い(図4参照)

- ・ 2022年4月より当社管内全域でのサービスを開始。スマホのGPS機能を活用することで車両の任意の位置情報を把握し、進行方向の交通情報をタイムリーにお知らせ。具体的には、渋滞や落下物などの突発事象発生箇所および過去に事故が多発している箇所の約2km手前で注意喚起する機能、インターチェンジの約4km手前到達時に、その先の交通規制、気象、休憩施設混雑状況等の情報提供。

⇒ **マスコミ関係者の皆さまから幅広く周知いただければ幸い**

2. 交通安全啓発活動

- ・ 警察やトラック協会等と連携し、サービスエリア等で延べ99回の交通安全キャンペーンを実施。二輪車の事故が昨今多いことから、二輪車向けの安全啓発を実施
- ・ 高速道路上の停止車両への衝突事故や単独事故が多発している状況をふまえ、**SNSを活用した安全啓発のための広報を強化(図5参照)**

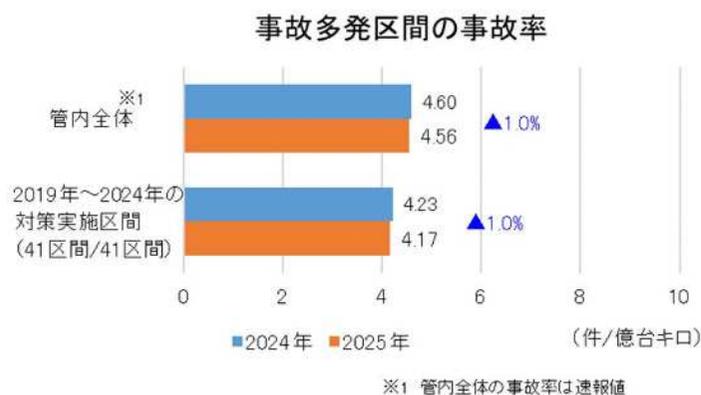


図3. 事故多発41区間における事故率の比較



図4. みちラジのイメージ等



図5. SNSによる安全啓発

① 二輪車が関係する死亡事故が多発しています！

- ・二輪車は自動車と比べ雨や風等の影響を受けやすいため、車間距離を十分に確保し速度を控えた安全な運転をお願いします。
- ・二輪車運転時は身体を守るためヘルメットやプロテクターを装着し、疲労・集中力の回復のため、疲れる前に休憩施設でこまめな休憩をお願いします。

② 渋滞や事故等で高速道路上に停止している車両への追突事故が多発しています！

- ・渋滞に遭遇した際は、ハザードランプを点灯し後続車に合図をお願いします。
- ・路面が乾燥している場合は、時速100kmでは約100m、時速80kmでは約80mの車間距離をとる必要があります。
- ・時速100kmでは1秒間に約28mも車は進みます。わき見・ながら運転は追突事故の原因となりますのでお辞めください。

③ 冬用装備の準備と雪道の安全運転をお願いします！

- ・冬の高速道路を走る時は、冬用タイヤを装着してください。その上で、突然の大雪などの天候の変化に備えて、タイヤチェーンも常に用意してください。
- ・積雪路や凍結路での急なアクセル・ブレーキの操作は、スピンなどを引き起こし大変危険です。動き始めも加速・減速も「ゆるやか」「ゆっくり」をキーワードに慎重な操作を。そして普段より車間距離をあけて、余裕を持った運転を心がけましょう。

④ 高速道路は、原付(125cc以下)、自転車、歩行者の通行が禁止されています！

- ・原付や自転車でナビアプリをご利用される際は、「高速道路を使わない経路案内」に設定いただくようお願いいたします。

⑤ 無くそう逆走 —高速道路は一方通行です—

- ・逆走は命に係わる危険行為です。高速道路は一方通行ですので、間違えて入ってしまったら、降りるインターチェンジを通り過ぎても本線上や料金所付近でのUターン(転回)やバック(後退)は絶対にしないでください。

⑥ 工事規制内に進入する事故が発生しています！ —高速道路上に作業をしている人がいます—

- ・高速道路を安全に維持管理するために、本線を規制して、作業をしています。工事規制内に誤進入する車が多発していますので、前を見て運転し、本線上の規制にご注意ください。

<参考> 交通事故防止の具体的な取組み事例等

□ 渋滞末尾事故対策の実施例



写真 渋滞末尾追突注意喚起看板の設置
東名下り 横浜青葉～横浜町田 (2025年1月対策完了)

写真 渋滞末尾追突注意喚起標識の設置
中央道上り 高井戸～調布 (2023年5月対策完了)

ETC2.0による
渋滞時追突注意喚起情報の発信

□ 交通安全キャンペーン

□ 日本二輪車普及安全協会と連携し、 二輪車安全運転講習会でリーフレット等を配布



□ 関係機関と連携した動画制作

